

1. 交付金事業の名称 エネルギー関連教育充実事業
2. 交付金事業の事業主体 静岡県
3. 交付金事業の実施場所 静岡県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・エネルギーの学習に関する教材の整備（焼津中央高校）

スマートカートおよびスマートカートを用いた実験に必要な器具を整備し、力学分野のエネルギーに関する学習に活用した。  
弦定常波発生器およびそれを観察するためのストロボスコープを整備し、波動分野のエネルギーに関する学習に活用した。

- ・原子力の学習に関する教材の整備（清水東高校）

デジタル放射線測定器等を整備し、低レベルのアルファ線、ベータ線、ガンマ線、エックス線などを検知し、放射線及び環境教育の学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

- ・東京電力廃炉資料館、浜岡原子力発電所、核融合研究所等の見学（焼津中央高校、清水東高校）

原子力発電の仕組みや福島第一原子力発電所の事故や廃炉プロセスについての理解を深める学習に活用した。

(3) 講演会の実施

- ・「福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた取り組みと化学のかかわりについて」（清水東高校）

核融合や量子力学の研究がもたらすメリットやデメリットを深める機会となった。

(4) 教員研修の実施

- ・発電・エネルギーについての教員研修

教員を対象とした研修を実施し、発電・エネルギーについての理解を深めることができた。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 9,329,202 円

交付金充当額 9,329,202 円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合は、目標 70%に対して実績 70%で、昨年度同様に達成度は 100%だった。原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合は、目標 100%に対して実績 100%で、こちらも達成度は 100%だった。実験器具・実験材料の整備事業や施設見学、教員研修を実施したことにより、原子力・エ

エネルギーに関する教育への環境が整備され、原子力・エネルギーについて生徒等の理解が促進された。

生徒は、実験器具等を活用して目で見ることのできない放射線の量を測定したり、原子力を利用した発電のしくみを観察・実験・見学したりすることで、放射線やエネルギーについて興味・関心が高まった。